



学校だより

<http://www.sumida.ed.jp/ryogokusho/>

令和7年1月31日

墨田区立両国小学校

墨田区両国4-26-6

TEL 3634-7876



誕生日自己紹介 6年生からのメッセージ

校長 渡邊 圭三

「6年〇組 〇〇 〇〇です。好きな教科は〇〇です。今年度も残り少なくなってきました。次の学年の準備をしましょう。」

先週の全校朝会で、12、1月生まれの6年生に私から（1～5年生は教室で担任から）「誕生日カード」を渡しました。6年生には全校を代表して「学年・組・名前・好きな教科と全校児童へのメッセージ」を一人一人発表してもらいました。冒頭に紹介したような最後の一文は、昨年度から新たに設けた内容で、当時の6年生担任が、最高学年として何か全校児童へ自分の思いや願いを伝えられたら、という提案で始めたものです。私がこれまでいた学校では、全校朝会で6年生の挨拶当番が朝礼台の前に立ち、「皆さんで朝の挨拶をしましょう。『おはようございます。』」の言葉の前にそのような内容を発表していたこともあり、提案通りに導入し、今に続いています。

そもそも私が校長として子供たちの誕生日をお祝いしたいと思ったのは、「誕生日は、人がこの世に生を受けた日、毎年一つ歳を重ねた日は本人はもちろん、家族や周りの人たちにとってとても喜ばしく素晴らしい日。一人一人が自分の命はもちろん、友達の命も大切にすることを考える日にしてほしい。」という願いがあったからです。そして、一番年上の6年生には、自分のことを胸を張って紹介してもらい、皆で拍手してお祝いをしたいと考えました。

当の6年生はどのように感じているのでしょうか。「晴れがましい」、「プレッシャーだ」、「自分の番が来てしまった」…、様々な思いを抱いてタブレットの前に立っていることでしょう。

「メッセージが他の子と被らないといいな」と呟く6年生もいます。私は発表の事前に当該の子供たちを集め、少しでも落ち着いて臨めるようリハーサルをしています。その際、6年生に伝えているのは「動画撮影のタブレットの向こうには、君たちの言葉を受け止めている全校児童がいる」ということ。皆が理解できる声の大きさ、速さ、トーンで発表できるよう見守ってきました。

当日、自分の発表を終え、自身の誕生日カードを受け取り、安堵の表情で教室に戻っていった6年生。どの子も自分らしさを出しながら、全校へのメッセージを立派に伝えてくれました。いよいよ次回は、お待たせした2、3月生まれの番。6年生による自己紹介も最終となります。誕生日カードを贈る朝会では、発表する6年生をはじめとする2、3月生まれの児童はもちろん、全校児童が一つ歳を加えられたことを祝福したいと思います。